

医療機関・薬局への導入におけるオンライン資格確認等システムとの接続に係る ネットワーク連携のパターンの参考例

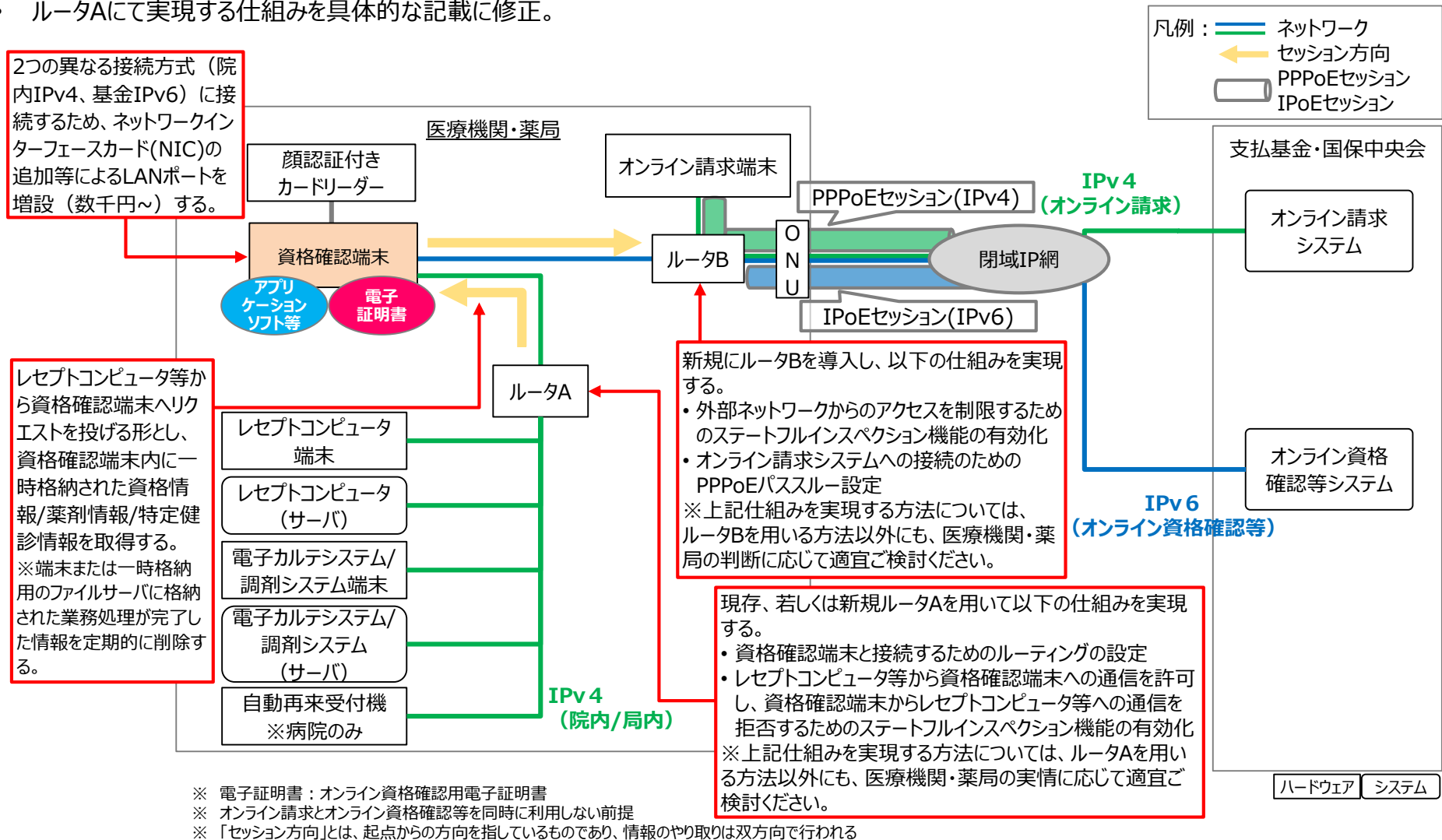
はじめに

- 医療機関等ONS等での問い合わせ傾向を踏まえて、医療機関・薬局への導入におけるオンライン資格確認等システムとの接続に係るネットワーク連携のパターンの参考例の整理を行いました。また、レセプトコンピュータ等の機能を資格確認端末に搭載（もしくはレセプトコンピュータ等端末にアプリケーションソフト等を搭載）する連携パターン例も示します。
- なお、医療機関・薬局への導入に当たっては、連携パターンを参考の上、医療機関・薬局にて「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第5版」に準拠し、必要なセキュリティ対策を行ってください。

○導入後想定：基本的な構成例（資格確認端末が1台もしくは複数台のケース）

【技術解説書1.0版 図2.3.2-2、2-3 基本的な構成例（資格確認端末が1台のケース）（資格確認端末が複数台のケース）からの変更点】

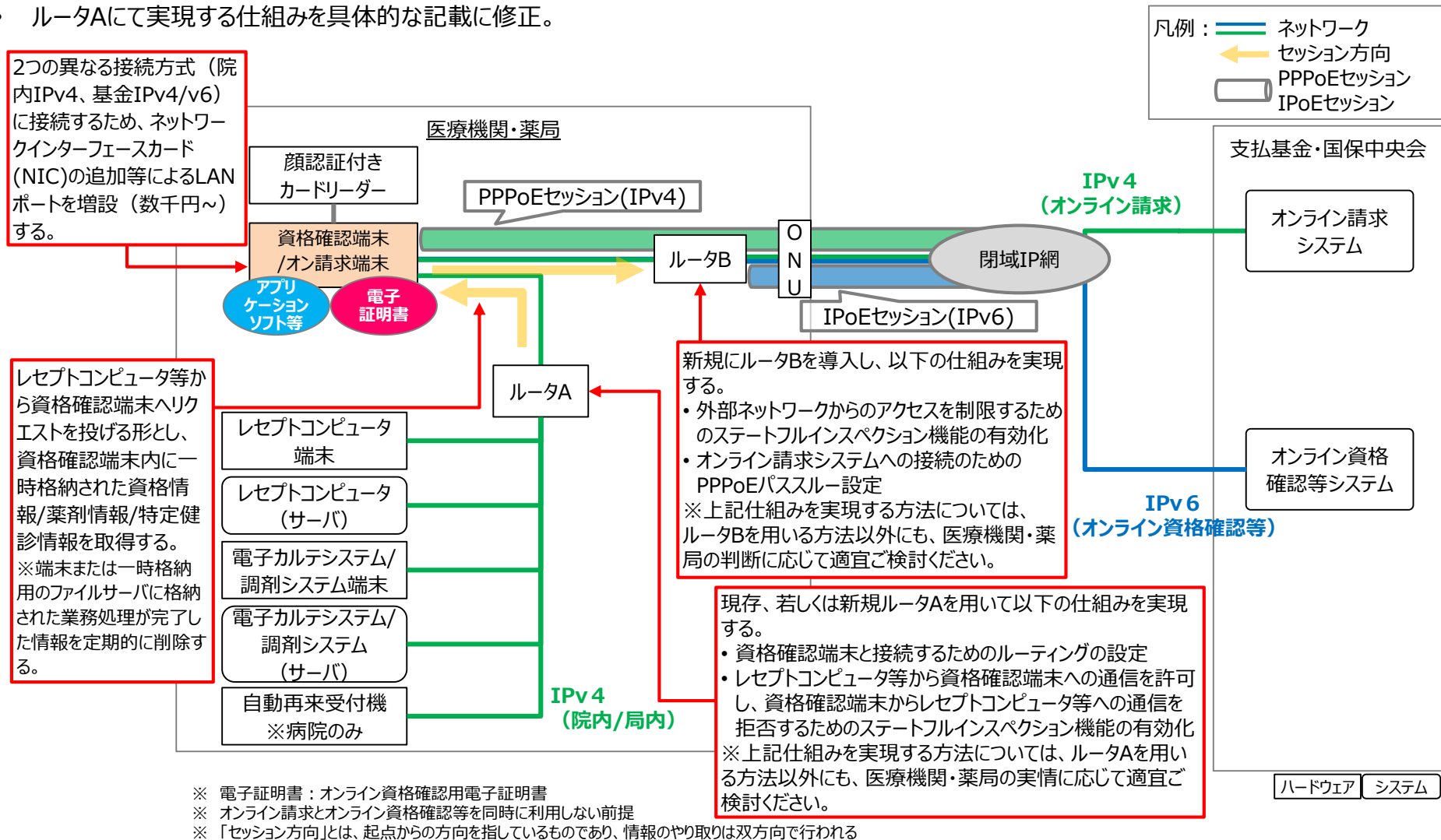
- ・ オンライン請求端末～ONUの間をHUBからルータBに変更。
- ・ 資格確認端末内のソフトウェアファイアウォールによる外部ネットワークアクセス制御の対策をルータBで担うため、記載削除。
- ・ ルータAにて実現する仕組みを具体的な記載に修正。



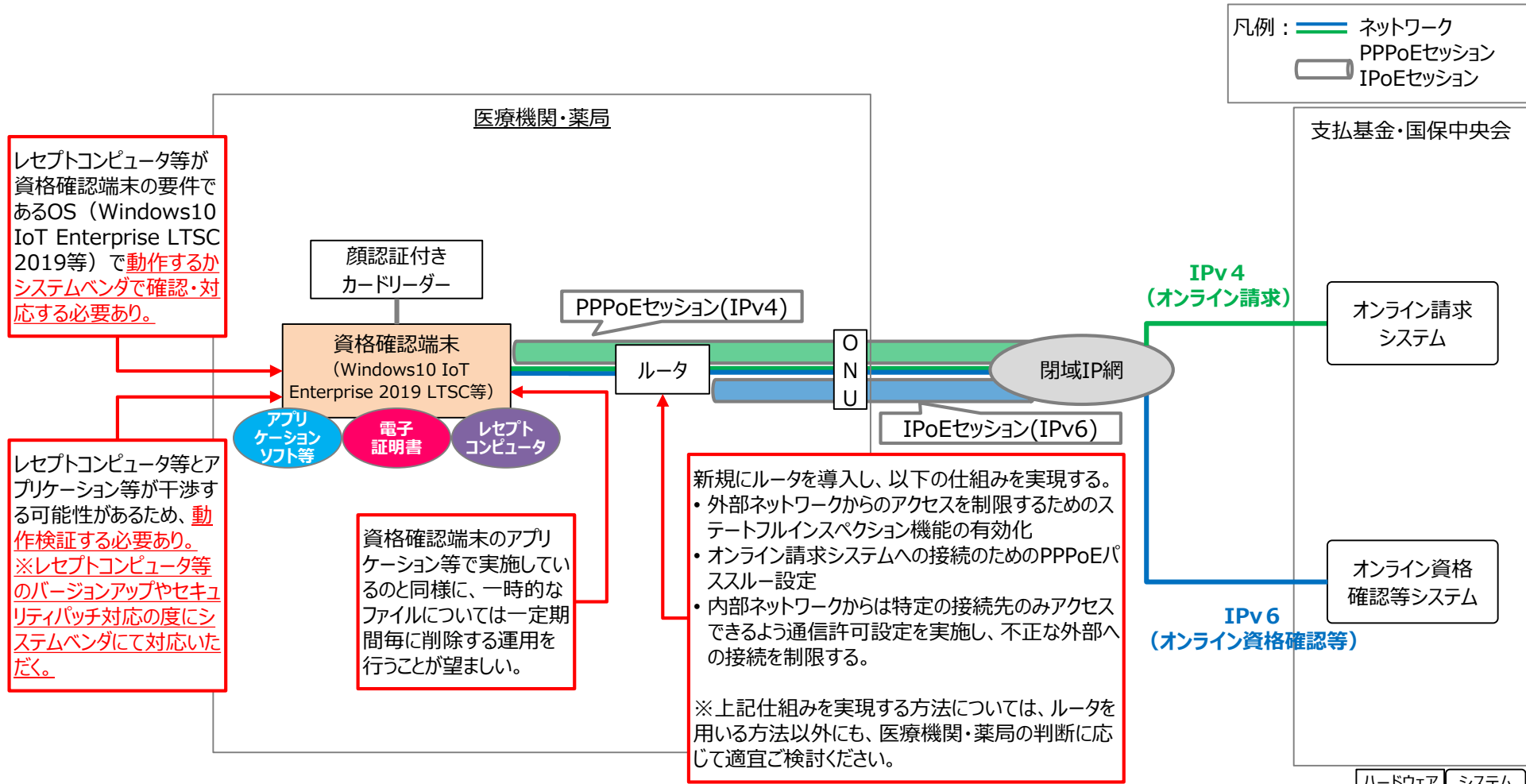
○導入後想定：オンライン請求と資格確認を一台の端末で実施する場合の構成例

【技術解説書1.0版 図2.3.2-4 オンライン請求未対応の施設がオンライン請求と併せて開始する場合の構成例からの変更点】

- オンライン請求端末～ONUの間をHUBからルータBに変更。
- 資格確認端末内のソフトウェアファイアウォールによる外部ネットワークアクセス制御の対策をルータBで担うため、記載削除。
- ルータAにて実現する仕組みを具体的な記載に修正。



○導入後想定：資格確認端末にレセプトコンピュータ等の機能を搭載する場合の構成例



※ 電子証明書：オンライン資格確認用電子証明書、オンライン請求用電子証明書
 ※ レセプトコンピュータの構成によって、サーバ等を設置する構成もあり
 ※ 資格確認端末の要件であるOSとは、「資格確認端末において満たすべき要件」に示しているOSを指す
 ※ レセプトコンピュータの構成としてサーバ等を設置している場合、ルータから分岐して接続されるサーバやルータにてアクセス制限対策を行う

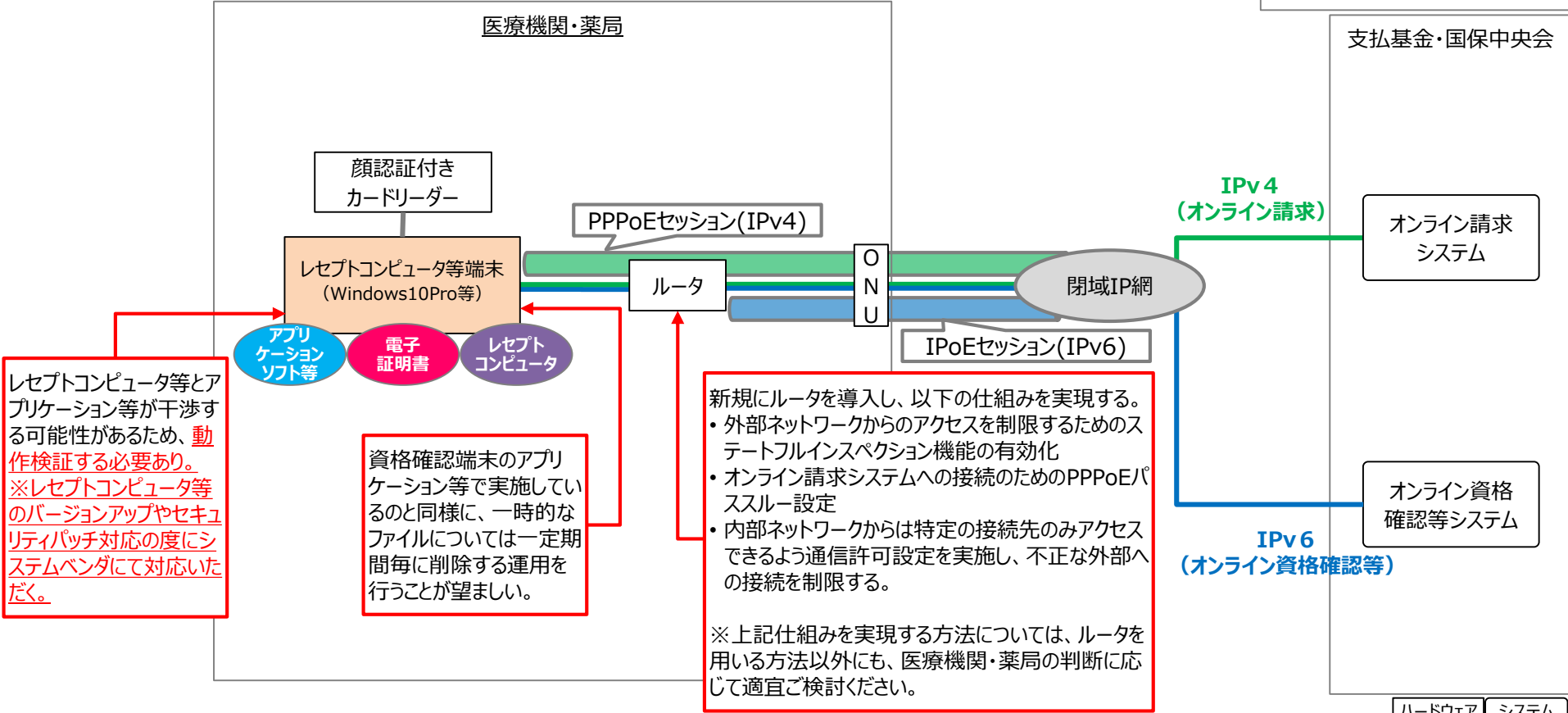
○導入後想定：レセプトコンピュータ等端末に資格確認端末の機能を搭載する場合の構成例

資格確認端末において満たすべき要件以外のマイナンバーカード処理ソフト・オンライン資格確認等連携ソフトが動作する対象OS

- Windows10Pro
- Windows10 Enterprise SAC
- Windows10 IoT Enterprise SAC

<補足>
 サポート対象OSについて、OSにおけるサポートライフサイクルやサポート期間、医療機関・薬局での利用状況を踏まえて、Windows OSを選定している。
 (令和2年8月時点)

凡例：
— ネットワーク
— PPPoEセッション
 IPoEセッション

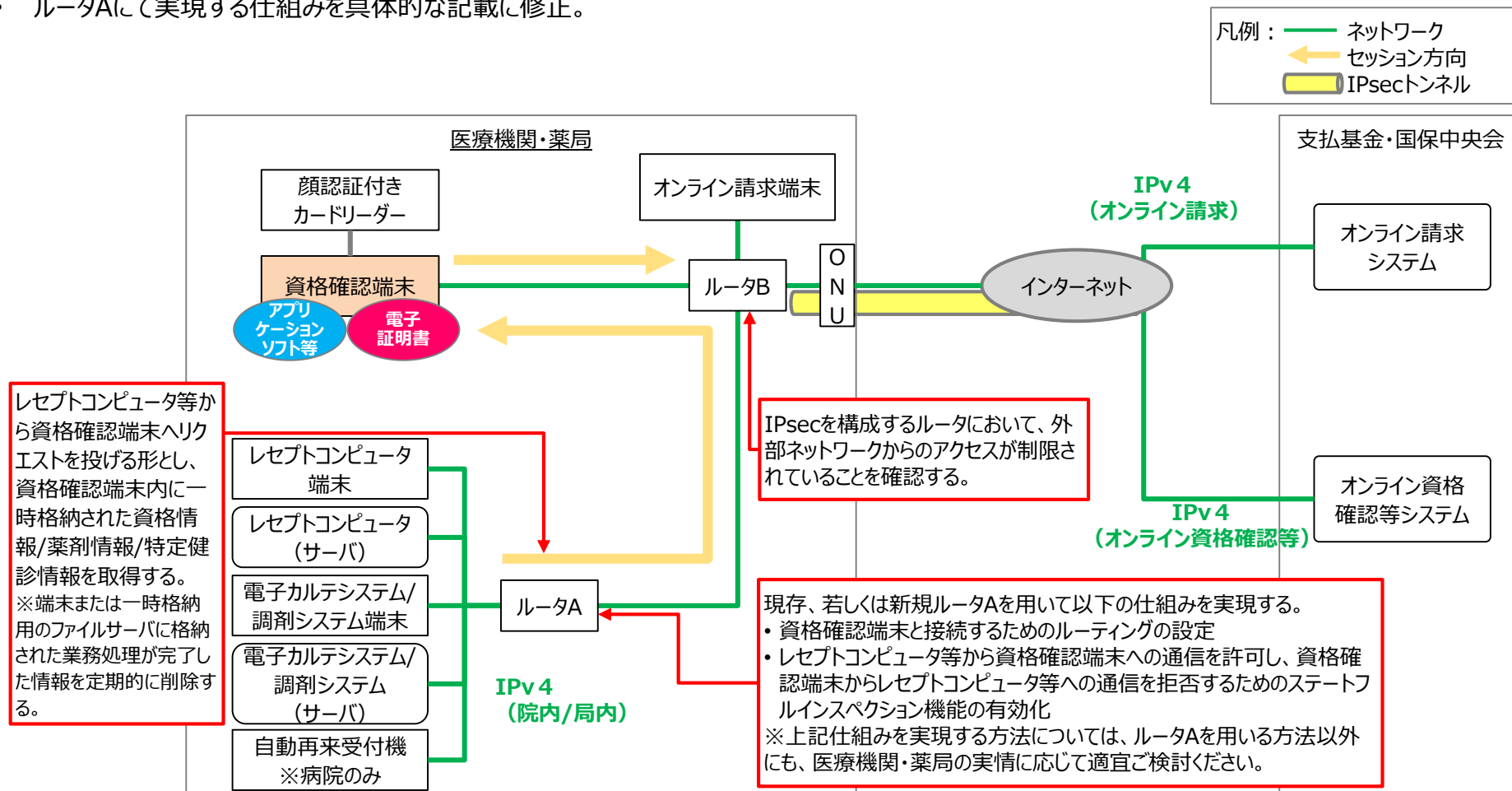


※ 電子証明書：オンライン資格確認用電子証明書、オンライン請求用電子証明書
 ※ レセプトコンピュータの構成によって、サーバ等を設置する構成もあり
 ※ レセプトコンピュータの構成としてサーバ等を設置している場合、ルータから分岐して接続されるサーバやルータにてアクセス制限対策を行う

○導入後想定：基本的な構成例（資格確認端末が1台もしくは複数台のケース）

【技術解説書1.0版 図2.3.2-6、2-7 基本的な構成例（資格確認端末が1台のケース）（資格確認端末が複数台のケース）からの変更点】

- ルータ型であるため、オンライン請求端末～ONUの間をHUBからルータBに変更。
- 資格確認端末内のソフトウェアファイアウォールによる外部ネットワークアクセス制御の対策を現存するルータBで担うため、記載削除。
- 資格確認端末での通信接続方式がIPv4のみであり、通信経路の物理的対策は不要となったため、ネットワークインターフェースカードの追加を削除。
- ルータAにて実現する仕組みを具体的な記載に修正。

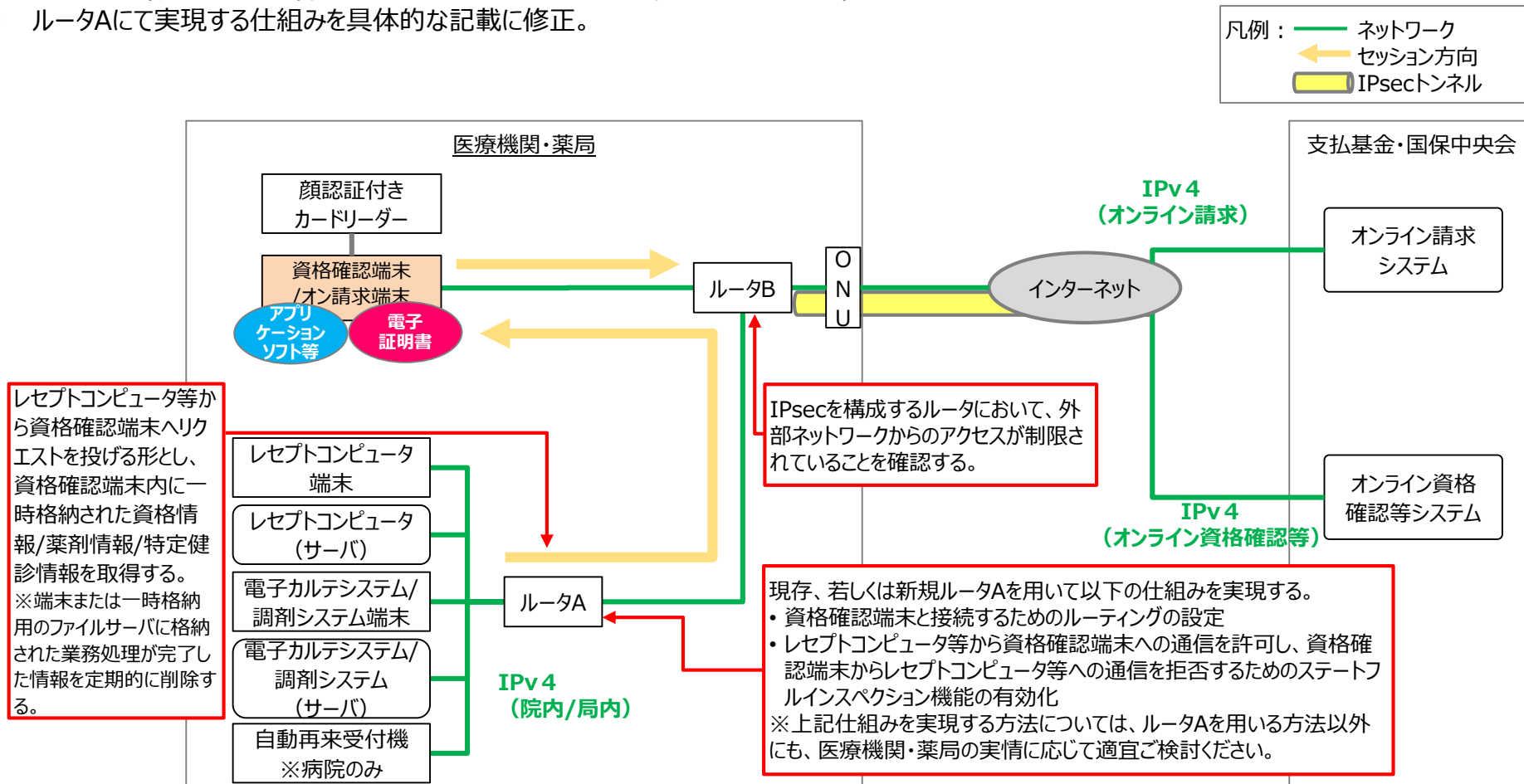


※ 電子証明書：オンライン資格確認用電子証明書
 ※ オンライン請求等とオンライン資格確認等を同時に利用しない前提
 ※ 「セッション方向」とは、起点からの方向を指しているものであり、情報のやり取りは双方向で行われる

○導入後想定：オンライン請求未対応の施設がオンライン請求と併せて開始する場合の構成例

【技術解説書1.0版 図2.3.2-8 オンライン請求未対応の施設がオンライン請求と併せて開始する場合の構成例からの変更点】

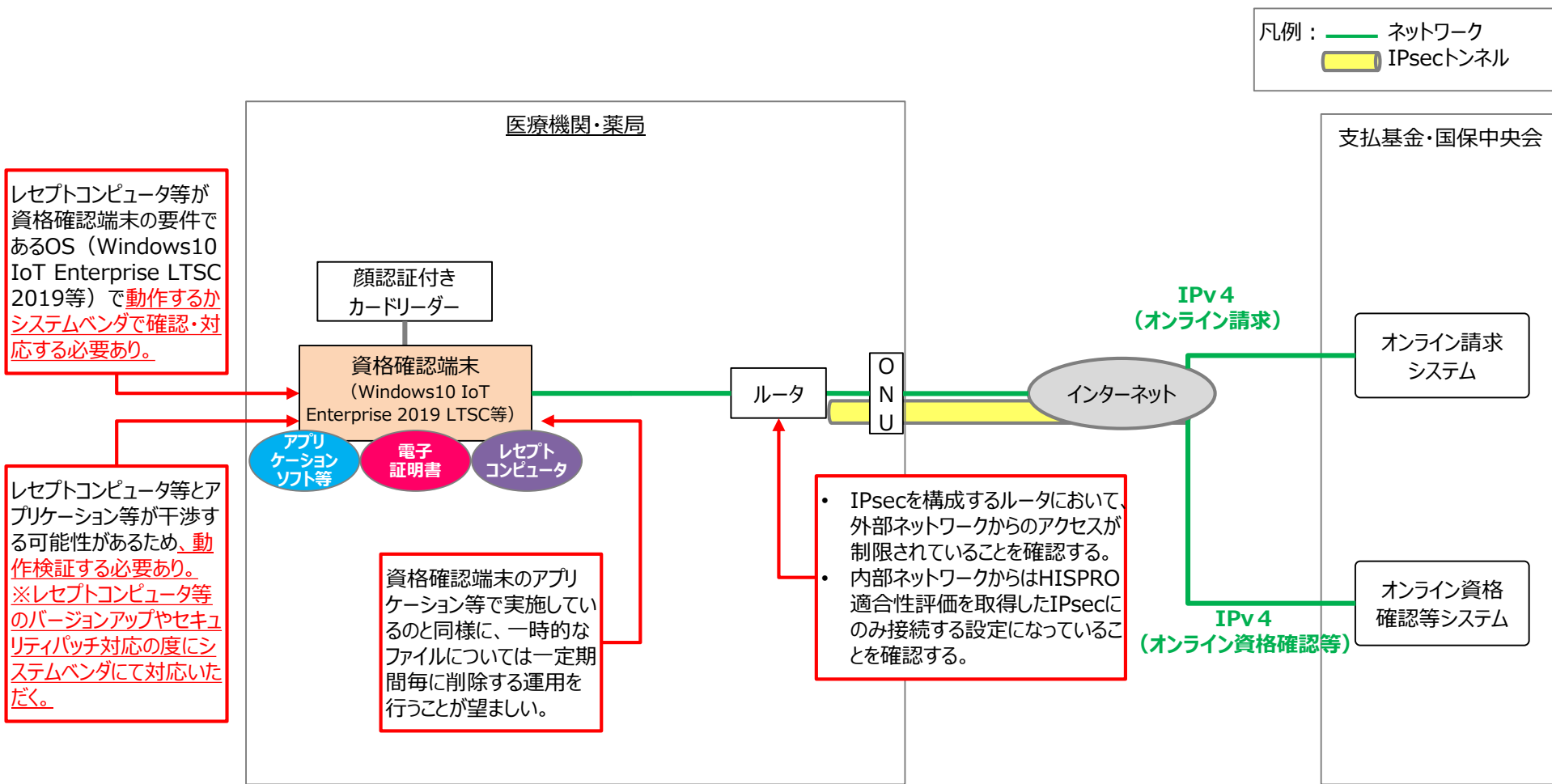
- ルータ型であるため、オンライン請求端末～ONUの間をHUBからルータBに変更。
- 上記に伴い、ルータにて通信経路を振り分けるため、LANポート差し抜き運用の記載を削除。
- 資格確認端末内のソフトウェアファイアウォールによる外部ネットワークアクセス制御の対策を現存するルータBで担うため、記載削除。
- 資格確認端末での通信接続方式がIPv4のみであり、通信経路の物理的対策は不要となったため、ネットワークインターフェースカードの追加を削除。
- ルータAにて実現する仕組みを具体的な記載に修正。



※ 電子証明書：オンライン資格確認用電子証明書
 ※ オンライン請求とオンライン資格確認等を同時に利用しない前提
 ※ 「セッション方向」とは、起点からの方向を指しているものであり、情報のやり取りは双方向で行われる

ハードウェア システム

○導入後想定：資格確認端末にレセプトコンピュータ等端末の機能を搭載する場合の構成例



※ 電子証明書：オンライン資格確認用電子証明書、オンライン請求用電子証明書
 ※ レセプトコンピュータの構成によって、サーバ等を設置する構成もあり
 ※ 資格確認端末の要件であるOSとは、「資格確認端末において満たすべき要件」に示しているOSを指す
 ※ レセプトコンピュータの構成としてサーバ等を設置している場合、ルータから分岐して接続されるサーバやルータにてアクセス制限対策を行う

○導入後想定：レセプトコンピュータ等端末に資格確認端末の機能を搭載する場合の構成例

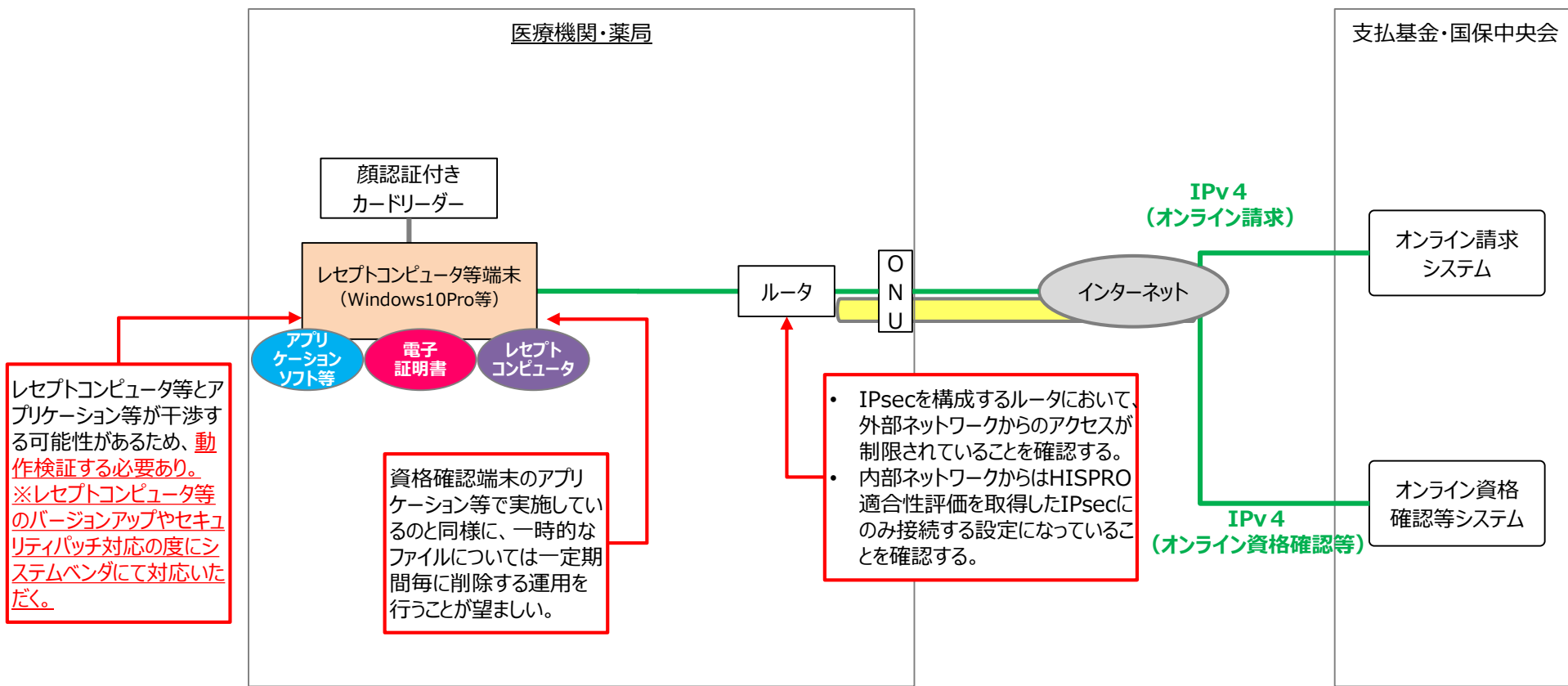
資格確認端末において満たすべき要件以外のマイナンバーカード処理ソフト・オンライン資格確認等連携ソフトが動作する対象OS

- Windows10Pro
- Windows10 Enterprise SAC
- Windows10 IoT Enterprise SAC

<補足>

サポート対象OSについて、OSにおけるサポートライフサイクルやサポート期間、医療機関・薬局での利用状況を踏まえて、Windows OSを選定している。
(令和2年8月時点)

凡例： — ネットワーク
 IPsecトンネル



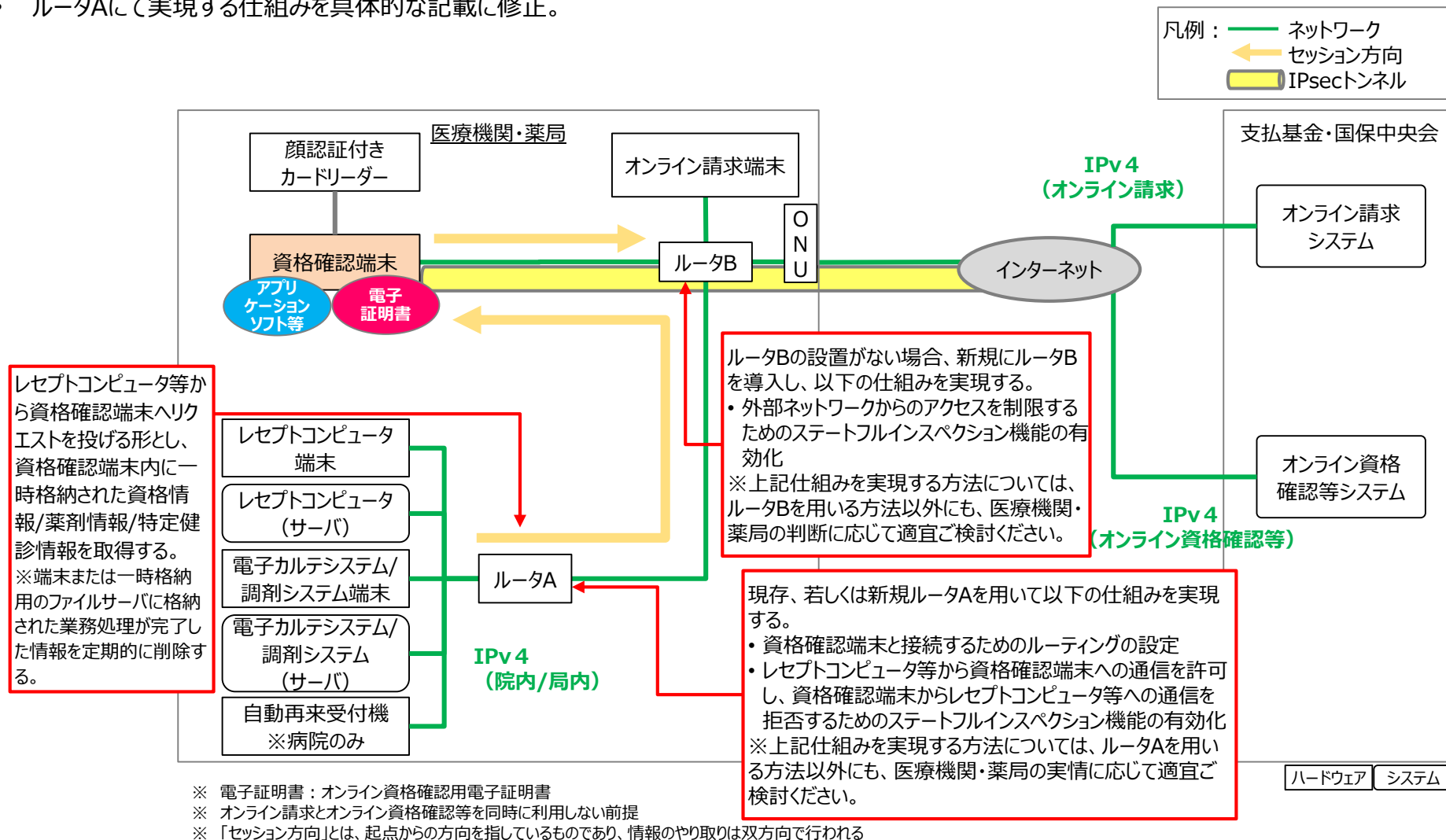
※ 電子証明書：オンライン資格確認用電子証明書、オンライン請求用電子証明書
 ※ レセプトコンピュータの構成によって、サーバ等を設置する構成もあり
 ※ レセプトコンピュータの構成としてサーバ等を設置している場合、ルータから分岐して接続されるサーバやルータにてアクセス制限対策を行う

ハードウェア システム

○導入後想定：基本的な構成例（資格確認端末が1台もしくは複数台のケース）

【技術解説書1.0版 図2.3.2-6、2-7 基本的な構成例（資格確認端末が1台のケース）（資格確認端末が複数台のケース）からの変更点】

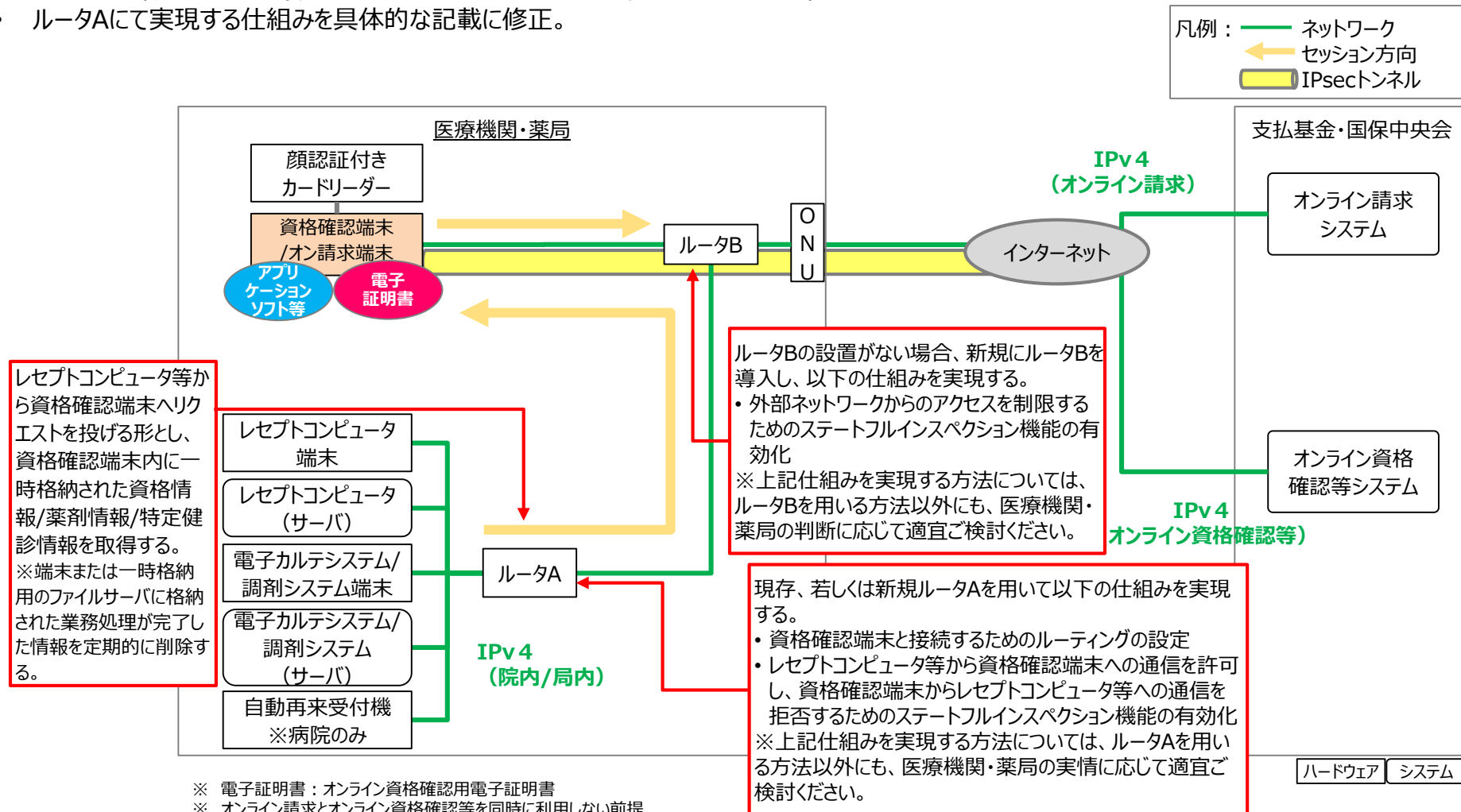
- ルータ型であるため、オンライン請求端末～ONUの間をHUBからルータBに変更し、実現する仕組みを具体的に記載。
- 資格確認端末内のソフトウェアファイアウォールによる外部ネットワークアクセス制御の対策を現存するルータBで担うため、記載削除。
- 資格確認端末での通信接続方式がIPv4のみであり、通信経路の物理的対策は不要となったため、ネットワークインターフェースカードの追加を削除。
- ルータAにて実現する仕組みを具体的な記載に修正。



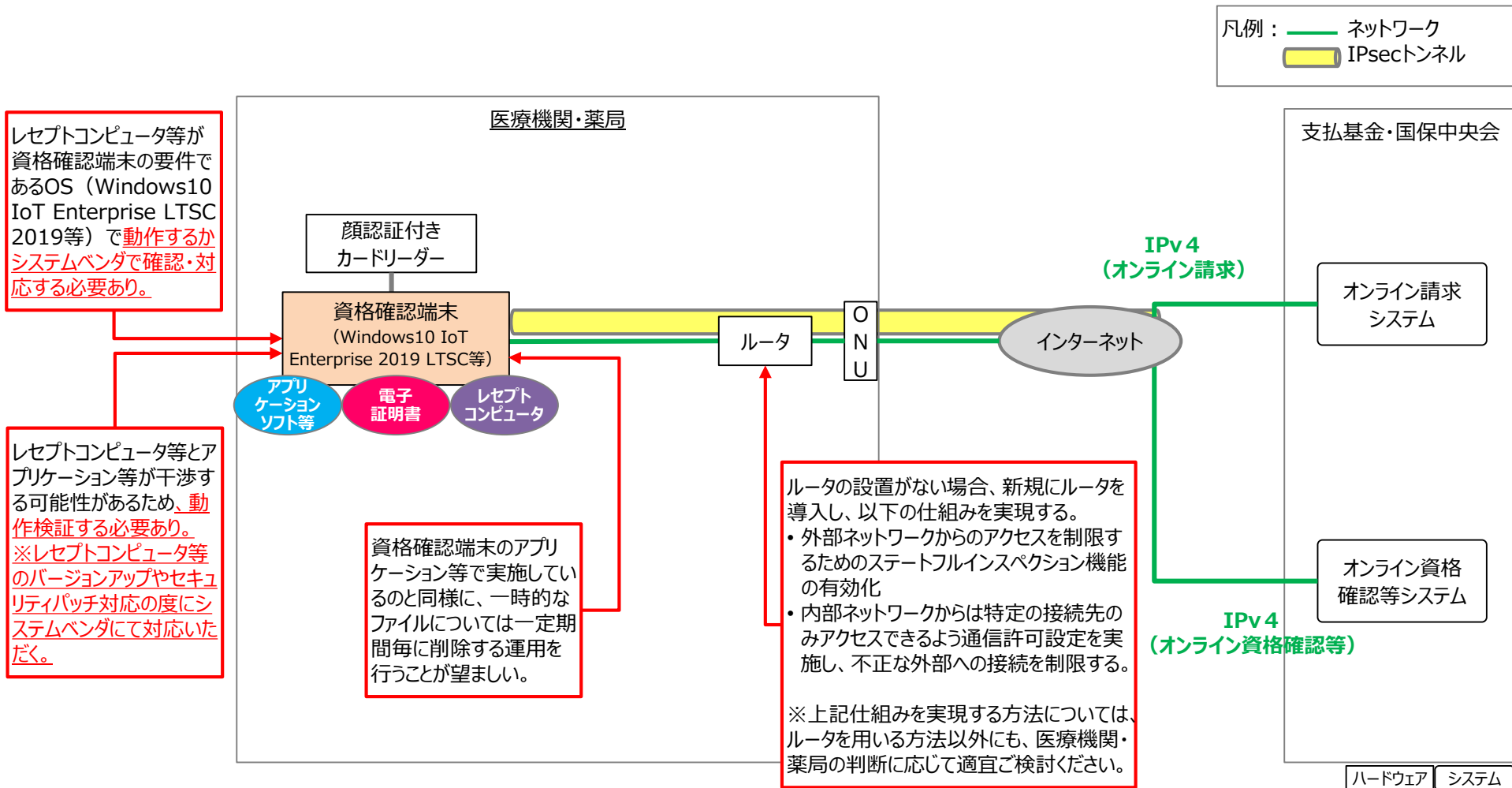
○導入後想定：オンライン請求未対応の施設がオンライン請求と併せて開始する場合の構成例

【技術解説書1.0版 図2.3.2-8 オンライン請求未対応の施設がオンライン請求と併せて開始する場合の構成例からの変更点】

- ルータ型であるため、オンライン請求端末～ONUの間をHUBからルータBに変更し、実現する仕組みを具体的に記載。
- 上記に伴い、ルータにて通信経路を振り分けるため、LANポート差し抜き運用の記載を削除。
- 資格確認端末内のソフトウェアファイアウォールによる外部ネットワークアクセス制御の対策を現存するルータBで担うため、記載削除。
- 資格確認端末での通信接続方式がIPv4のみであり、通信経路の物理的対策は不要となったため、ネットワークインターフェースカードの追加を削除。
- ルータAにて実現する仕組みを具体的な記載に修正。



○導入後想定：資格確認端末にレセプトコンピュータ等端末の機能を搭載する場合の構成例



※ 電子証明書：オンライン資格確認用電子証明書、オンライン請求用電子証明書
 ※ レセプトコンピュータの構成によって、サーバ等を設置する構成もあり
 ※ 資格確認端末の要件であるOSとは、「資格確認端末において満たすべき要件」に示しているOSを指す
 ※ レセプトコンピュータの構成としてサーバ等を設置している場合、ルータから分岐して接続されるサーバやルータにてアクセス制限対策を行う

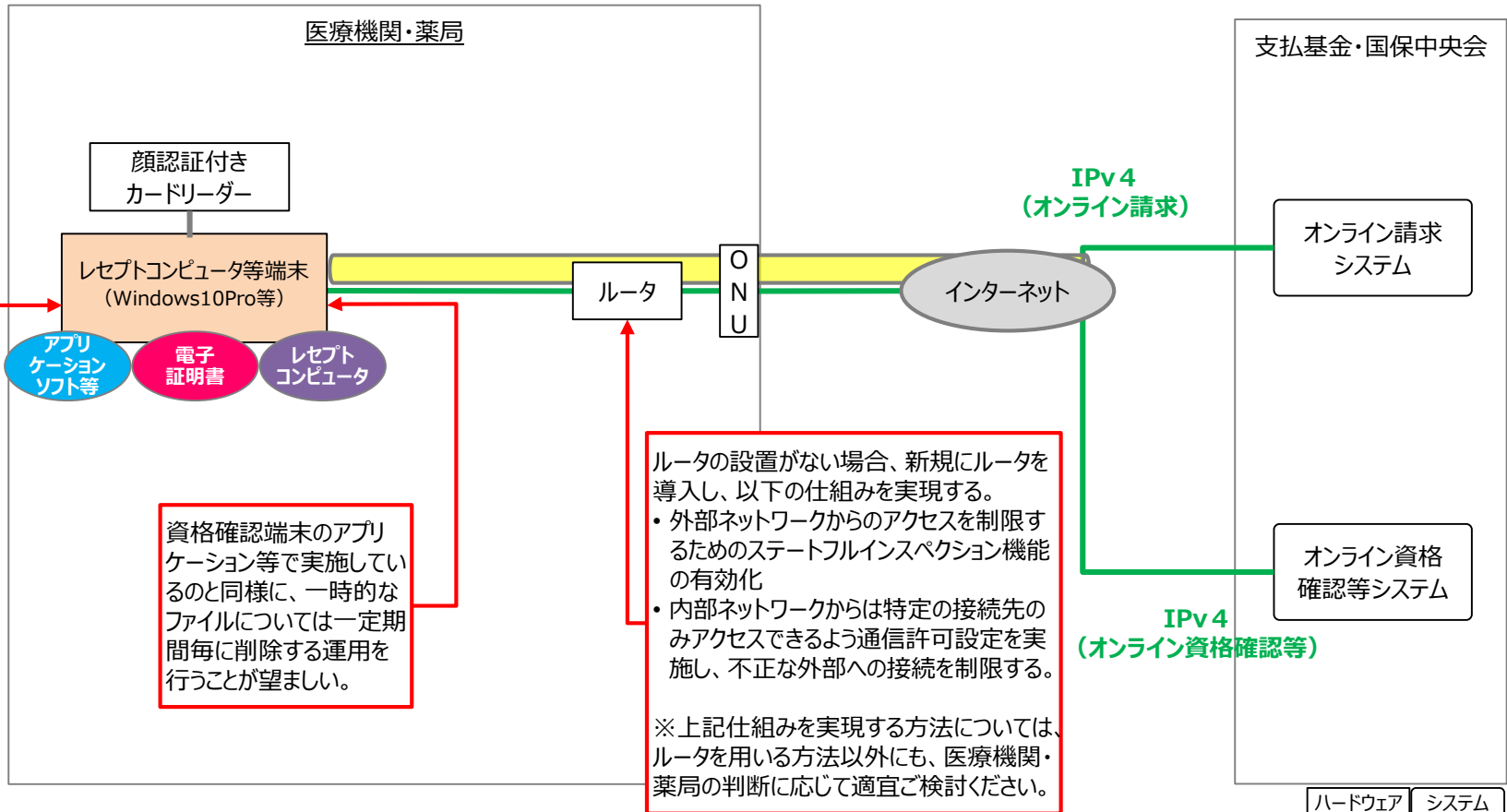
○導入後想定：レセプトコンピュータ等端末に資格確認端末の機能を搭載する場合の構成例

資格確認端末において満たすべき要件以外のマイナンバーカード処理ソフト・オンライン資格確認等連携ソフトが動作する対象OS

- Windows10Pro
- Windows10 Enterprise SAC
- Windows10 IoT Enterprise SAC

<補足>
サポート対象OSについて、OSにおけるサポートライフサイクルやサポート期間、医療機関・薬局での利用状況を踏まえて、Windows OSを選定している。
(令和2年8月時点)

凡例： — ネットワーク
 IPsecトンネル



レセプトコンピュータ等とアプリケーション等が干渉する可能性があるため、**動作検証する必要あり。**
※レセプトコンピュータ等のバージョンアップやセキュリティパッチ対応の度にシステムベンダにて対応いただく。

資格確認端末のアプリケーション等で実施しているのと同様に、一時的なファイルについては一定期間毎に削除する運用を行うことが望ましい。

ルータの設置がない場合、新規にルータを導入し、以下の仕組みを実現する。

- 外部ネットワークからのアクセスを制限するためのステートフルインスペクション機能の有効化
- 内部ネットワークからは特定の接続先のみアクセスできるよう通信許可設定を実施し、不正な外部への接続を制限する。

※上記仕組みを実現する方法については、ルータを用いる方法以外にも、医療機関・薬局の判断に応じて適宜ご検討ください。

※ 電子証明書：オンライン資格確認用電子証明書、オンライン請求用電子証明書
 ※ レセプトコンピュータの構成によって、サーバ等を設置する構成もあり
 ※ レセプトコンピュータの構成としてサーバ等を設置している場合、ルータから分岐して接続されるサーバやルータにてアクセス制限対策を行う